

リサイクル飼料で育った
ニワトリのたまご



マチの皆さまに
心のこもった接客



自然の力を活かした
環境にやさしいお店



マチと共に生きる 取り組み報告 2013

ミネラル成分の
バランスが取れている
野菜を全国のお客さまへ



高校生たちと共同で
商品を開発



株式会社 ローソン

社会共生室
〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎 イーストタワー
<http://www.lawson.co.jp/>



2013年10月発行
次回発行 2014年9月予定
© 1975-2013 Lawson, Inc. All rights reserved.

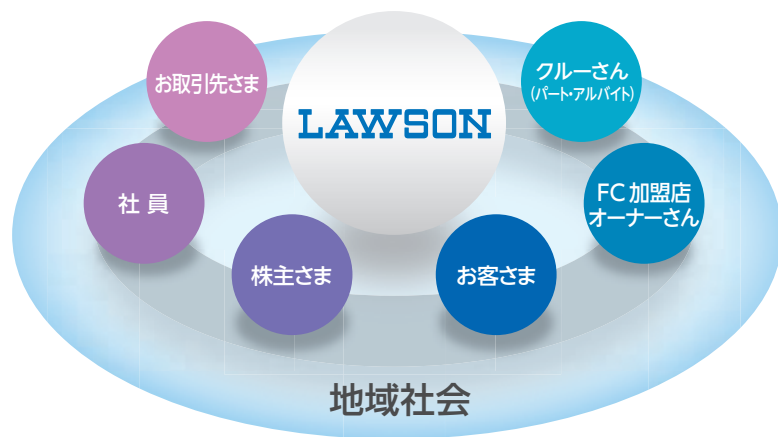


私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

ローソングループ企業理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

ローソングループの考えるマルチステークホルダー※



ローソングループのビジネスは、地域社会全体を含む7つのステークホルダーとともに成り立っています。私たちは、あらゆるステークホルダーにとって有益となるよう、企業価値の向上を目指しています。

※ステークホルダー：ローソングループを取り巻く関係者

ローソングループ環境方針



基本理念

私たちローソングループは、豊かな地球の恵みを次世代へ引き継ぐため、常に環境に配慮した事業活動を行うとともに、地域社会との共生と持続可能な発展に向けて積極的に行動します。

方針

1. 低炭素社会の構築に向けて
2. 商品・サービス等の開発における配慮
3. 社会貢献活動への積極的な参画
4. 継続的な改善の実施
5. 法令等の遵守
6. コミュニケーションの推進

本業を通じて、社会や環境に関するさまざまな課題の解決を目指しています

私たちローソングループは、本業であるコンビニエンスストア事業を通じて、企業理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の実現を目指しています。マチ（地域社会）のお客さまの身近にあるお店として社会や環境におけるさまざまな課題に対応し、社会と共生していくことが私たちの願いです。

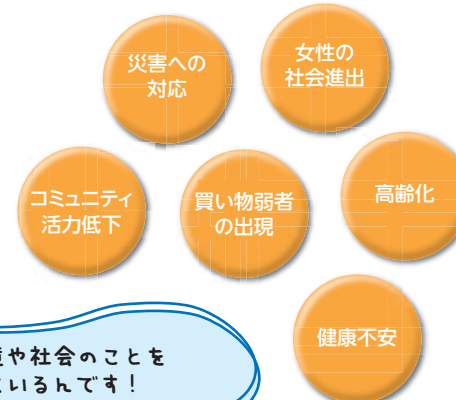
環境

環境への負荷から生じた課題



社会

社会の変化から生じた課題



ローソンは環境や社会のことを真剣に考えているんです！

◎各ページの上に、ローソングループの取り組みで解決を目指す社会的課題を表示しています。

ローソングループがお客さまとともに目指す持続可能な社会の実現

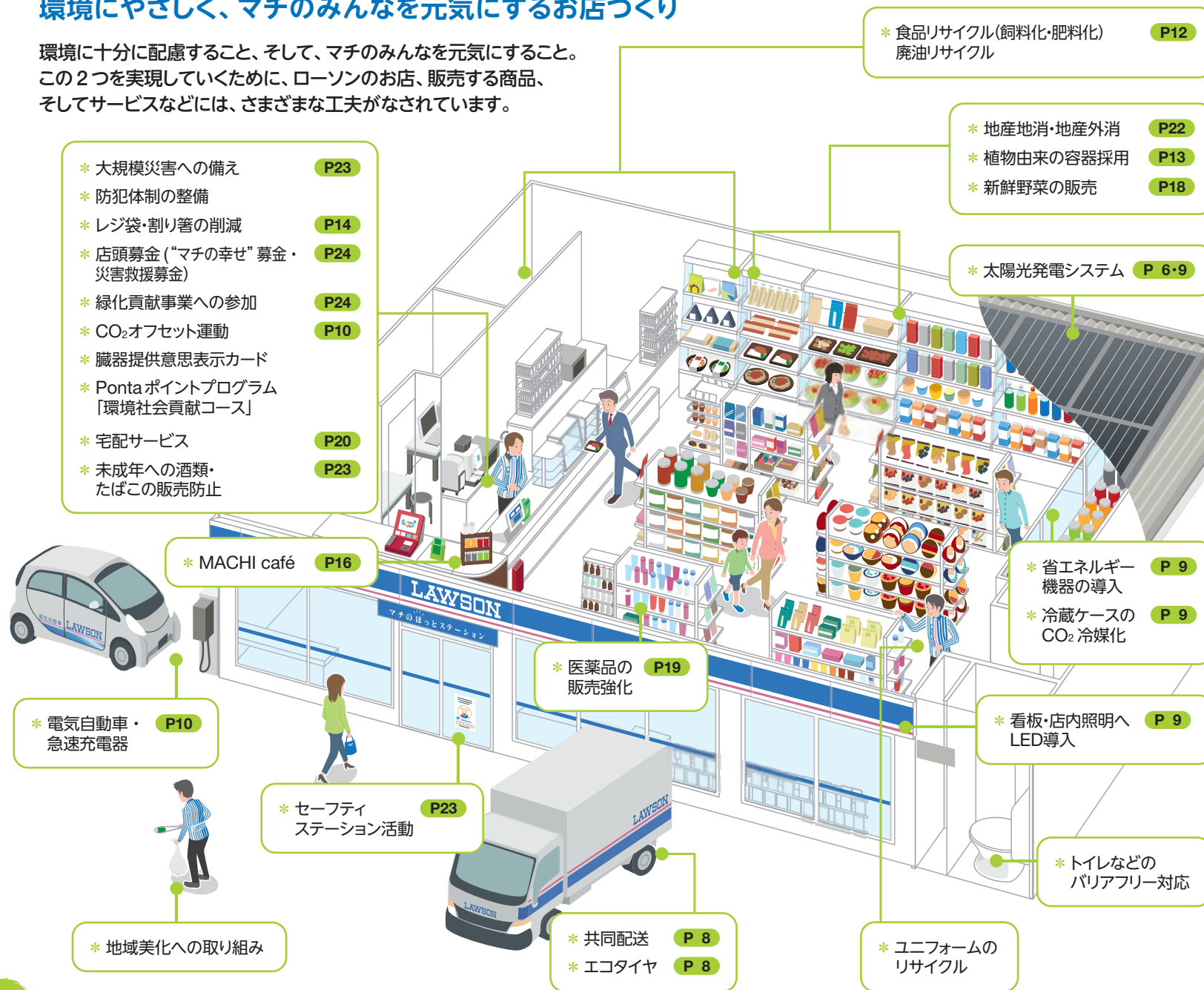


ローソングループは企業理念、環境方針に基づき、本業を通じて社会・環境に配慮した事業活動を展開しています。環境マネジメントシステム「ISO14001」を活用し、Plan・Do・Check・Actionのサイクルをまわすことで、お客さまとともに持続可能な社会の実現を目指していきます。



環境にやさしく、マチのみんなを元気にするお店づくり

環境に十分に配慮すること、そして、マチのみんなを元気にすること。
この2つを実現していくために、ローソンのお店、販売する商品、
そしてサービスなどには、さまざまな工夫がなされています。



- * 大規模災害への備え **P23**
- * 防犯体制の整備 **P14**
- * レジ袋・割り箸の削減 **P24**
- * 店頭募金(“マチの幸せ”募金・災害救援募金) **P24**
- * 緑化貢献事業への参加 **P24**
- * CO₂オフセット運動 **P10**
- * 臓器提供意思表示カード **P20**
- * Pontaポイントプログラム「環境社会貢献コース」 **P23**
- * 宅配サービス **P20**
- * 未成年への酒類・たばこの販売防止 **P23**

- * 食品リサイクル(飼料化・肥料化) 廃油リサイクル **P12**

- * 地産地消・地産外消 **P22**
- * 植物由来の容器採用 **P13**
- * 新鮮野菜の販売 **P18**

- * 太陽光発電システム **P 6・9**

- * 省エネルギー機器の導入 **P 9**
- * 冷蔵ケースのCO₂冷媒化 **P 9**

- * 看板・店内照明へLED導入 **P 9**

- * トイレなどのバリアフリー対応

- * 医薬品の販売強化 **P19**

- * セーフティステーション活動 **P23**

- * 共同配送 **P 8**
- * エコタイヤ **P 8**

- * MACHI café **P16**

- * 電気自動車・急速充電器 **P10**

- * 地域美化への取り組み

環境

- 5 省エネ・創エネでCO₂を減らす
- 11 ごみを減らし資源を大切にする

社会

- 15 地域の皆さまに求められるお店をつくる
- 17 安全・安心・健康・便利な生活を応援する
- 21 マチを元気にする
- 25 企業情報

環境や社会の
いろいろな課題の
解決に取り組む
ローソンのことを、
もっとみんなに知って
ほしいな

あきこ

ローソンでアルバイトを
している大学2年生です。
この小冊子の案内役です。



未来のために、 環境にやさしいお店へ



最新の省エネルギー機器で、
電気使用量とCO₂の
発生を減らしています！

私たちローソンは、最新の省エネルギー機器の導入や太陽光発電システムによるエネルギーの創出などによりCO₂排出量削減に努め、環境にやさしいお店づくりに取り組んでいます。その取り組みは原材料の調達から製造、物流、販売に至るサプライチェーンのすべてのプロセスで行われています。

創エネ + 省エネ

CO₂ 排出量
削減



自然の力を活用した、省エネの実験店舗

ローソン海老名上今泉二丁目店の取り組み

東京大学生産技術研究所の協力を得て、最先端の技術を結集した省エネ・創エネ型店舗の研究を行っています。海老名上今泉二丁目店は、自然光や風、地中熱といった自然が本来もつエネルギーを最大限に活用して、電気使用量の30%削減（2010年度実績対比）を目指しています。

ポイント1 自然光・風の最大活用

太陽光発電

年間約18,000kWh発電。
屋根への日光直射を遮り、
空調負荷も軽減。



自然光取り入れ窓

中央に飛び出した四面窓
から自然光の取り入れと
換気を行います。



ポイント2 地中熱の最大活用

地中熱活用冷暖房システム

約17℃の地下水の熱を金属パ
ネルに伝導し、天井ルーバーで
店内に放射して室温を調節。



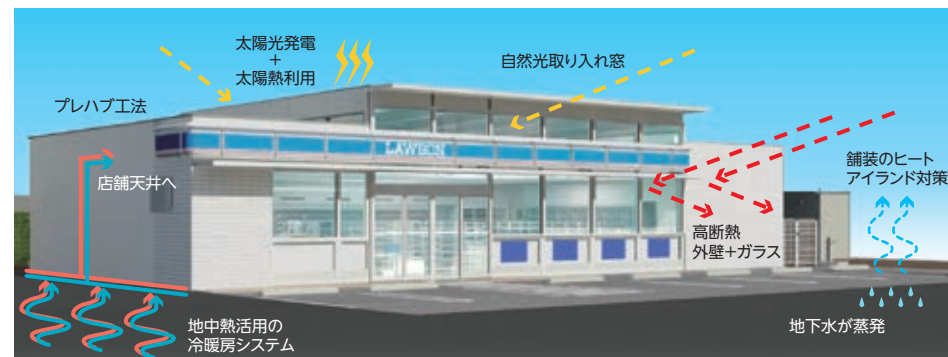
舗装のヒートアイランド対策

舗装下に地下水を浸透
散水し、蒸発気化で温度
を低減。



【省エネルギー実験店舗】

店舗名：ローソン海老名上今泉二丁目店（神奈川県海老名市）



ポイント3 建築構造の最大活用

高断熱外壁

断熱性能の高い外壁パ
ネルと膜で空気層を挟
み、遮熱効果をもたせた
二重構造の外壁を採用。



高断熱ガラス

遮熱・断熱性の高いLow-e
ペアガラスを使用。

プレハブ工法

鉄骨量は従来の約7割、
廃材はゼロ。工期短縮
により使用電力も削減。

ポイント4 環境配慮型設備機器

冷蔵ケースのCO₂冷媒化
エネルギーの高効率化と
ノンフロン化に貢献。（P9
参照）



冷蔵ケースの排熱活用
夏は店外に排熱、冬は店
内に循環させ、空調負荷
を軽減。

人工知能システム

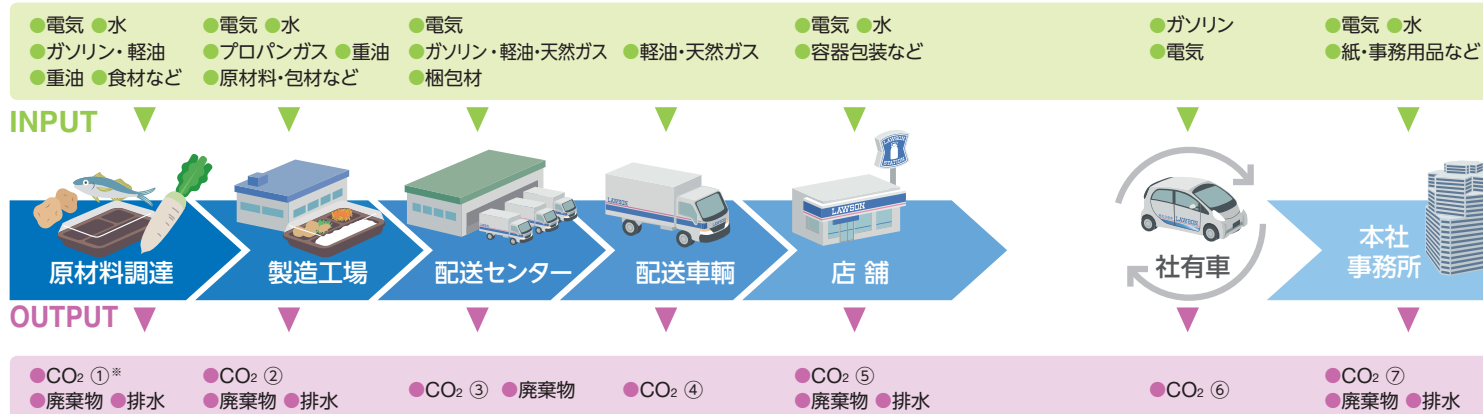
店内外の環境に合わせて
機器の自動制御を行
い、エネルギーを効率的
に活用。



サプライチェーン全体でCO₂排出量を削減

商品やサービスを提供するにあたり、ローソンの店舗では電気・ガソリンなどのエネルギーや水などの資源を使用し、CO₂や廃棄物などを排出しています。これらの環境への負荷をできるだけ小さくするために、原材料の調達から商品の製造、物流、店舗での販売に至るサプライチェーンの各段階で発生するCO₂排出量を把握し、その削減に向けたさまざまな取り組みを行っています。

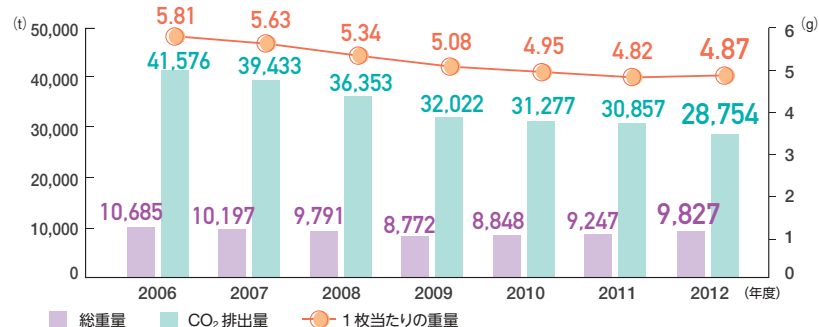
◎サプライチェーンにおけるマテリアルフロー



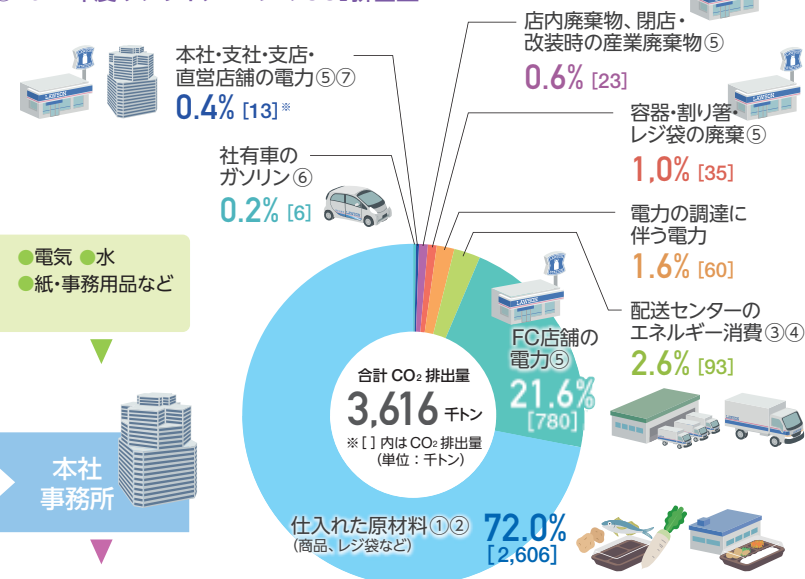
お弁当やお惣菜の容器を軽量化

限りある資源を大切に使うために、容器包装の安全性を守りながら軽量化を進めています。2012年度は、商品一つ当たりの容器包装使用重量を2006年度に比べて16.2%、総重量は約860トン減らすことができました。これにより容器包装の焼却時に発生するCO₂排出量を約13,000トン(30.8%)削減したことになります。

◎容器包装使用重量及び焼却時のCO₂排出量



◎2012年度サプライチェーンのCO₂排出量



サプライチェーンを通じた、温室効果ガス排出量の算定方法
基本ガイドラインに関する業種別解説 (小売業) Ver.1.0 に基づき算定

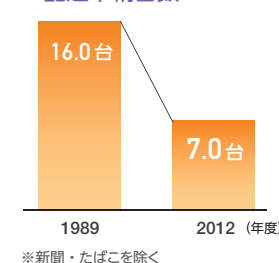
効率的な配送やエコドライブを推進

配送を効率的に行うため、共同配送の推進や納品頻度の適正化を図っています。また、エコタイヤや、運行状況を把握する運行管理システムを使ってエコドライブに努めるとともに、ドライバーを対象に、アイドリングストップの徹底や騒音の防止などの研修も行い、意識向上を図っています。



エコタイヤ

◎1店舗1日当たりの配送車両台数*





省エネルギー機器の導入



店舗の電気使用量を減らすために、冷凍と冷蔵、空調用の室外機を一つにまとめてムダなく運転する「要冷空調一体型システム」やLED照明などの省エネルギー機器を導入しています。



新店用のLED照明



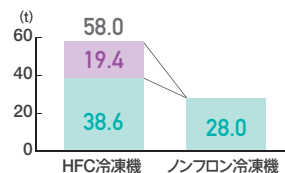
要冷空調一体型システム

CO₂を冷媒に使うノンフロン冷凍・冷蔵機器の導入



ローソンは、2010年度から自然冷媒（CO₂）を使用した別置型ショーケース及び冷凍機の導入を開始し、2013年2月末

◎CO₂冷媒のCO₂削減効果



従来の代替フロンを使用する機器と比べ、年間CO₂排出量を半減させることが可能

日現在75店舗に導入しました。今後標準化に向けて取り組みを進めます。従来の代替フロンを使う機器を使用する場合と比べ、要冷機器電気使用量の約25%、店舗全体電気使用量の約11%の削減効果があります。



「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」経済産業大臣賞を受賞

自然エネルギーの利用拡大に向けた太陽光発電事業



2012年10月1日より、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づき、太陽光発電システムによる売電を開始しました。10kW以上の大規模な売電はコンビニエンスストア業界で初めてです。2012年度に1,002店舗、2013年度に1,000店舗、合計約2,000店舗に太陽光発電システムを導入する計画です。この太陽光発電システムは、売電用の10kW（5kW×2系統）と店舗使用の2kW、合計12kWの発電が可能で、発電量は年間約11,000kWh。2,000店舗では、年間2,200万kWhの発電量となり、6,000世帯以上の電力使用量をまかなうことになります。

ハイブリッド車や電気自動車でお店を巡回



ローソンの従業員がお店を巡回するための車は、全国で約1,880台。そのうち四輪駆動車を除くすべての車（約1,480台）を、CO₂排出量の少ないアイドリング自動ストップ車やハイブリッド車に切り替えています。2009年度から導入を開始した電気自動車は、2013年2月末日までに東京、神奈川、大阪などに合計62台。一部のお店の駐車場には電気自動車用の充電設備*を設置し、電気自動車の普及にも貢献しています。



電気自動車専用の充電設備（一部のお店）

※2013年2月末日現在、急速充電器11台、倍速充電スタンド1台

お客さまと
取り組む
社会・環境活動

お客さまのCO₂オフセットを支援

「CO₂オフセット運動」は、お客さまがお買い物で貯めた、共通ポイントカード「Ponta」ポイントの交換や、マルチメディア情報端末「Loppi」での現金によるお申し込み、排出権付き商品の販売などで、お客さまの生活で発生するCO₂のオフセット（埋め合わせる）を支援しています。

◎CO₂オフセット運動の仕組み



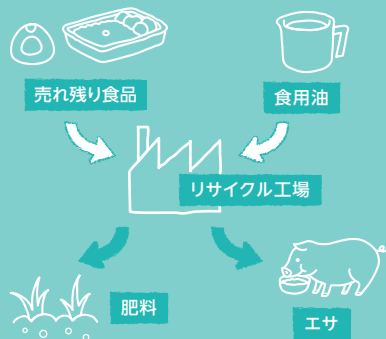
ごみの削減と食品リサイクルで 資源をムダにしない取り組み



リサイクル飼料で育ったニワトリのたまごは
千葉のお店などで販売されています

売れ残った食品や揚げ物の油は、
リサイクルして
有効活用しています

お弁当やお惣菜などの食品をムダにしないために、ITを活用したデータ分析でお客様のニーズに合う品揃えの実現を心掛けています。それでも余ってしまったら、飼料（ブタなどのエサ）や肥料、燃料などにリサイクルすることで、有効に活用するように努めています。



Ponta データ分析で発注精度を向上させ、ムダな廃棄の削減へ

ローソンが導入している共通ポイントプログラム「Ponta」の購買動向データを分析し、お客様のニーズを把握。「お客様の欲しいモノが、欲しいときに、欲しいところにある」お店の実現を目指し、ムダな廃棄を減らすよう努めています。

SCM (サプライチェーン・マネジメント)

調達から販売までのプロセスを総合的に管理し、
全体工程の効率化と最適化を実現する経営管理手法

CRM (カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)

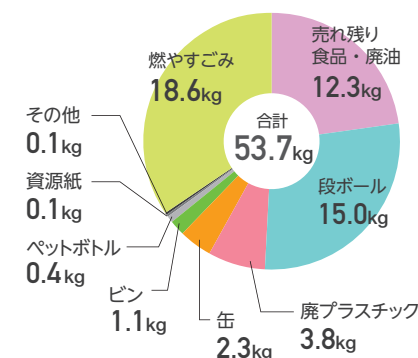
顧客の個別ニーズに応じて商品やサービスを
提供する経営マーケティング手法



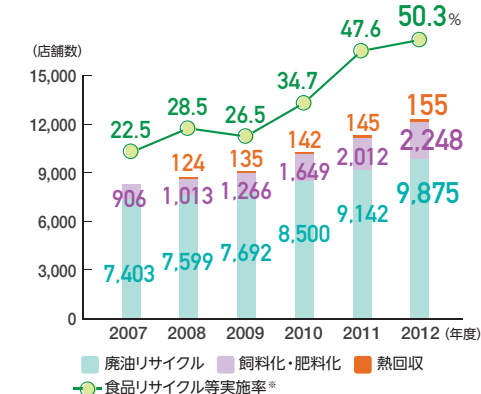
食品リサイクルを推進し、実施率は50.3%に

ローソンのお店の売れ残り食品（お弁当やおにぎりなど）や揚げ物に使った油は、1店舗1日当たり平均で12.3kg。売れ残り食品はリサイクル工場に搬入され、飼料（ブタやニワトリのエサ）や肥料に、揚げ物に使った油は飼料用添加剤（エサの材料）や公共バスの燃料（バイオディーゼル燃料）、無添加石けんなどに再生されます。その結果、食品リサイクル等実施率は50.3%となりました。

◎1店舗1日当たりの平均廃棄物量



◎ローソングループ食品リサイクル実施店舗数の推移



※食品リサイクル等実施率は(株)ローソン単体の数値です

食品リサイクルループ (リサイクルの輪) の構築

「食品リサイクルループ」とは、コンビニエンスストアやスーパー、レストランなどのお店から出た売れ残り食品などを飼料や肥料にリサイクルし、その飼料や肥料で育った農畜産物をお店で食材として利用・販売する取り組みです。食品が循環し、ループ (輪) になっているように見えることから「食品リサイクルループ」と呼ばれます。ローソンは、売れ残り食品をリサイクルして作られた飼料 (エコフィード※) で育ったニワトリのたまごを、千葉県・茨城県の約 260 店で販売しています。これはコンビニエンスストア業界で初めての取り組みです。

※エコフィード：売れ残り食品の利用率や飼料の製造工程管理などで、一定の基準や安全性を満たした飼料

◎食品リサイクルループの取り組み



容器に環境配慮の素材を使用

お店で販売するオリジナル商品の容器に、トウモロコシからできたポリ乳酸 (PLA) などの生分解性樹脂を積極的に採用しています。2012 年 5 月からは、植物 (サトウキビ) 由来の樹脂を一部使用したバイオ PET 樹脂を冷やし麺類の容器に採用し、関東地区のお店から全国へと順次導入しています。



バイオPET樹脂を使用した冷やし麺類の容器



トウモロコシからできたポリ乳酸 (PLA) を使用した容器



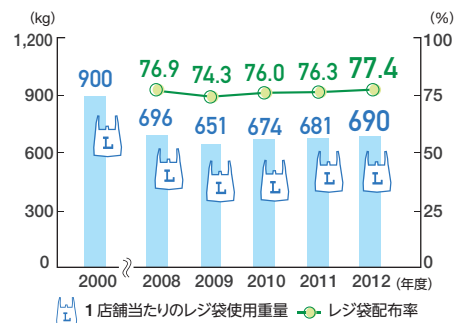
取り組みが認められ「平成 24 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞

声掛けなどでレジ袋・割り箸の削減を推進

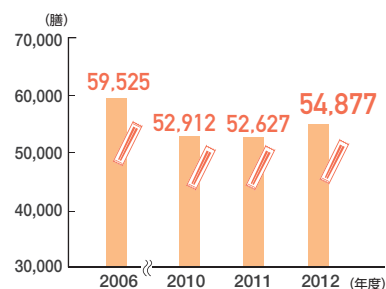
店舗スタッフの声掛けや店内放送、ポスターの掲出などにより、レジ袋や割り箸の削減を進めています。2012 年度の 1 店舗当たりのレジ袋使用重量は、2000 年度比で 23.3% を削減、お客さまへのレジ袋配布率※は 77.4% となりました。また、割り箸は 2006 年度比で 7.6% 使用本数を削減しました。割り箸は長さを 1cm 短くすることで、年間 2,300 万膳分の木材使用量を削減しています。

※仕入れたレジ袋の数 ÷ 来店されたお客さまの数 (お客さまにどれくらいレジ袋をお渡ししているかがわかります)

◎1 店舗当たりのレジ袋使用重量とレジ袋配布率



◎1 店舗当たりの割り箸使用本数 (膳)



お客さまと
取り組む
社会・環境活動

「ケータイ運動」の推進 お買い物用エコバッグを景品で提供

シールを集めて景品がもらえるキャンペーンの景品の一つとしてエコバッグを制作しました。さらにこのエコバッグを持参し、お買い物されたお客さまに、Ponta ポイントを 1 ポイント提供するサービスを期間限定で実施しました。

<Ponta ポイント付与期間>

- ◎ミッフィーエコバッグ 2012 年 11 月 27 日～2013 年 5 月 31 日
- ◎リラックマエコバッグ 2013 年 2 月 26 日～2013 年 8 月 31 日
- ◎ハローキティエコバッグ 2013 年 7 月 9 日～2013 年 11 月 30 日

<エコバッグ持参ポイント実績>

2012 年 11 月 27 日～2013 年 5 月 31 日の 6 ヶ月間の実績
エコバッグ持参に対するポイント付与数 約 440 万ポイント
のべ 440 万人のお客さまがこのバッグを持参され、その分に相当するレジ袋枚数が削減されました。

ローソンはエコバッグやマイ箸を持ち歩くライフスタイルを「ケータイ運動」として応援しています。



© '76, '13 SANRIO CO., LTD. ©

▲景品のハローキティエコバッグ。特に女性のお客さまに好評をいただいています (キャンペーンは 2013 年 8 月に終了)

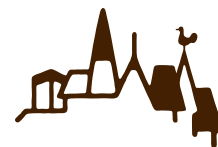
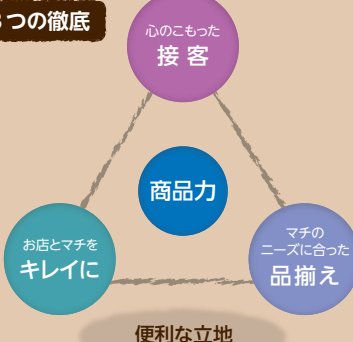
お客さまの欲しいモノが、欲しいときに、 欲しいところにあるお店づくり



心のこもった接客など「3つの徹底」が
私たちのお店づくりの基本です！

ローソンは、マチ（地域社会）に合った便利な立地で、気持ちよくお買い物をしていただける心のこもった接客とキレイなお店、そして、ニーズに合う品揃えが、マチのお客さまに求められるお店づくりの基本だと考えています。

3つの徹底



MACHI café

挽きたて淹れたてコーヒーを、お客さまに“手渡し”する理由

店内で豆を挽いて、淹れたてでご提供するコーヒー「MACHI café」。お店では、セルフサービス式ではなく、クルーが心をこめておいしいコーヒーを淹れ、お客さまに手渡しします。このおもてなしのサービスは、いわば MACHI café 流「3つの徹底」といえるものなのです。



アイスカフェラテ ブレンドコーヒー

環境への配慮

環境保全や農園労働者の生活向上など、厳しい基準を満たした農園に与えられるレインフォレスト・アライアンス認証。MACHI café のコーヒー豆の70%はこの認証を取得した農園によるものです。また、タンブラーご持参のお客さまには10円引きでご提供し、廃棄物の削減に貢献しています。



オリジナルタンブラー

お店とマチを
キレイに
(社会・環境への貢献)

3つの徹底

心のこもった
接客

高品質商品
品揃え

手渡しと対話

一杯一杯ていねいにコーヒーを淹れ、お客さまと対話しながら手渡ししています。ローソンがそこにこだわるのは、MACHI café を重要な接客の機会と捉えているからです。MACHI café はお客さまへのおもてなしの心を示す象徴的な商品です。

豆と牛乳へのこだわり

コーヒー豆は風味に優れたアラビカ種のみ、また、希少性の高いパルドナチュラ製法の豆を20%使用。豆それぞれの個性に合わせて焙煎した後にブレンドする「アフターミックス製法」を採用しています。牛乳は、成分に負担が少ない加熱方法で、牛乳本来のコクと甘みをしっかり残しています。

FANTASISTA'S VOICE

コーヒーの話題でお客さまとの会話が 常連の方もたくさんできました

ファンタジスタ*になってから、コーヒーに関する話題で、お客さまとの会話が増えました。その結果、常連のお客さまもたくさんでき、うれしく思っています。今後はさらにファンタジスタを増やしていきたいですね。

*ファンタジスタ：接客レベルが高いクルー（パート・アルバイト）を対象にした、コーヒーに関する豊富な知識を認定する資格。合格者はファンタジスタの認定を受ける

ローソン熊本横手四丁目店
ファンタジスタ・店長
やすなかしゅうじ
安中 修二 さん





お客さまの変化するニーズに 応えてお店も進化



新しいコンビニエンスストアの時代が
もう、始まっています！

高齢化社会への移行や女性の社会進出など、さま変わりする社会環境の中で、人々のニーズもまた変わっていきます。ローソンは、お客さまの安全・安心への強い願い、健康への高い関心、便利さの追求に応えられるお店づくりに力を入れています。

お客さまや社会の変化に
合わせたお店づくり

高齢化

女性の社会進出

健康志向



安全・安心・高品質な新鮮野菜を供給する ローソンファームを全国展開

人々の健康的な食生活を支える、安全・安心で、高品質な新鮮野菜や果物をローソングループのお店に安定的に供給するために、全国に農業生産法人「ローソンファーム」を設立。中嶋農法によるミネラル成分のバランスが取れている野菜などを栽培しています。2013年9月末日現在、ローソンファームは全国に10カ所あり、今後も順次拡大していく計画です。このほかに、契約農家や、有機・低農薬農産物の取り扱いで先行する「大地を守る会」「らでいっしょぼーや」とも連携しています。

◎中嶋農法

健全な土づくりと健全な作物の生育を維持する技術により、適切な栄養を供給するのが「中嶋農法」です。ローソンはこの中嶋農法を推進するエーザイ生科研株式会社に投資しています。



中嶋農法で栽培された
ローソンファームの小松菜



◎生鮮コンビニ宣言

香の野菜を食べよう！運動

2012年10月、ローソンは全国のお店で生鮮食品の品揃えを拡大していくことをお客さまに宣言しました。2013年5月からは全国のお店で「もっとおいしく野菜を食べよう！」運動を行い、野菜を手軽に楽しく食べられる商品の開発に力を入れています。



▲1日に必要な野菜の摂取量と、対象商品で摂取できる目安をシールで明示

◎有機・低農薬農産物を扱う各社と連携



大地を守る会
DAICHI WO MAMORU KAI

大地を守る会

37年の歴史と約2,500人の契約生産者のネットワークを有し、「あんしんの約束」と呼ぶ独自の安全基準をクリアした商品だけを扱う、有機野菜・無添加食品などの宅配事業の草分けで、ローソンは33.4%出資しています。



らでいっしょぼーや

有機・低農薬農産物の宅配会員数が国内最大級の企業。ローソンは同社親会社である株式会社NTTドコモと資本業務提携し、同社に10%出資しています。

身近な場所で薬が買えるよう、医薬品の販売を強化

急に薬が必要になった時に家の近くのローソンで手軽に買えたら便利。そうしたマチのニーズに応じて、医薬品の取り扱いを強化しています。

クオール株式会社と提携した調剤薬局併設型店舗の拡大

大手調剤薬局チェーンのクオール株式会社と提携して、調剤薬局併設型店舗の出店拡大や人材交流を行っています。2013年7月末日現在、東京、神奈川で計34店舗を展開しています。

一般用医薬品の取り扱い強化

2009年の改正薬事法施行による「登録販売者制度」の導入に伴い、通常のお店で一般用医薬品の取り扱いを強化。2013年7月末日現在、全国78店舗で取り扱っています。



▲ 調剤薬局併設型店舗

一般用医薬品の販売のほか、医療機関が発行する処方箋への対応や薬剤師による健康相談など専門性の高いサービスを提供

健康のフラッグシップ店舗 「ローソン久が原一丁目店」で健康をサポート

2013年5月、健康のフラッグシップ店舗「ローソン久が原一丁目店」がオープン。健康志向商品へのニーズと高齢化社会へ対応する、未来のコンビニエンスストアづくりに向けた実験店舗です。このお店で得られたノウハウを、さまざまな形で全国のローソンのお店へ展開していく計画です。



▲ ローソン久が原一丁目店
(東京都大田区)



新鮮で安全な野菜・果物販売

「大地を守る会」「ローソンファーム」産の野菜・果物の陳列スペースを拡大。



健康志向商品の強化

健康に関連したPB（プライベートブランド）商品の先行販売や、低カロリー・低糖質商品の品揃えを強化。



健康支援のサービス

一般用医薬品の販売、薬剤師に24時間相談可能なテレビ電話や株式会社タニタの業務用体組成計を設置。



NBメーカーとの協業

売場の一部を一定期間NB（ナショナルブランド）メーカーへ提供し、健康志向商品の販売実験を実施。

株式会社タニタと共同開発したお弁当や ブラン（小麦ふすま）を使用したベーカリーなどの販売

毎日の食事を通して手軽に健康的な生活を送っていただきたいとの想いから、お客さまの健康に配慮した商品の開発に注力しています。



株式会社タニタと共同開発したお弁当

カロリーと塩分を抑えつつ野菜をたっぷり使い、栄養バランスに配慮しています



ブラン（小麦ふすま）を使用したベーカリーやデザート

ブランは小麦の外皮の部分で糖質が少なく、食物繊維を含んでいます

働く女性を支援する 便利な定期宅配サービス「スマートキッチン」

2013年3月からヤフー株式会社とともに、定期宅配サービス「スマートキッチン」を本格的に開始。スマートフォンなどで手軽に注文できるほか、簡単便利で品質にこだわったオリジナル商品も提供しています。子育てをしながら働く女性を支援するための新しい時代の定期宅配サービスです。



◎スマートキッチンが提供する3つの価値

5分で
献立が決まる

5分で
簡単お買い物

10分で
本格手料理

◎メニュー例



店舗からご自宅までお届けする宅配サービスを実験

お買い物が不自由な高齢者や、近くにスーパーなどがいない地域で暮らす人々のために、ローソンのお店から商品を宅配するサービスを実験的に始めています。

久が原一丁目店の 「ローソンお届けサービス」

電話で注文を受け、商品をご自宅までお届けしています。



広島県神石高原町と連携し、 過疎化・高齢化が進んだ地域へ宅配サービス

専用車両「ローソン号」を2台導入し、移動販売・注文配達の実施。その際に神石高原町が指定した高齢者世帯の方々に声掛けする「安否確認サービス」も併せて実施しています。



地域に密着したお店で
全国のマチを元気に！



共同開発をしたパンを店頭販売する
宮城県農業高等学校の生徒さん

全国約11,000店舗のネットワークで
日本中のマキを元気にします！

ローソングループのお店は
全国に約11,000店舗ありま
す。私たちは日本各地に広が
るその店舗ネットワークの力
で、日本中のマチを元気にし
ていきます。また、災害時に
は頼りになるインフラとしての
機能を果たしていきます。

自治体との包括協定における 主な取り組み項目

觀光振興・PR

地元の産品・食材の拡販

福祉・子育て支援

環境貢獻

防犯・青少年育成

災害対策



全国の自治体と協力して、
地域に貢献する取り組みを進めています

ローソングループは自治体と包括協定を結び、地域に密着したお店の運営や商品開発、環境保全、子育て支援をはじめとした地域貢献活動を進めています。2013年7月末日現在、協定を結んだ自治体は45ヵ所。地産地消^{*1}の商品づくりや、地産外消^{*2}の取り組みも、こうした活動の一つです。

※1 地産地消：地域で生産されたものを、
その地域で消費する取り組み

※2 地産外消：地域で生産されたものを、
その地域外で販売する取り組み



宮城県の高校生の皆さんと商品開発

宮城県産品をたくさん使ったパンで地産地消を推進し、地域を活性化させたい生徒さんたちの想いと、地元密着を目指すローソンにより、商品の共同開発が実現しました。

宮城県農業高等学校食品化学科の生徒さん12名と共同開発した「宮農パン ブルーベリー&ホイップ」は、東北産の米粉を使用したパン生地で宮城県産ブルーベリーのジャム、さらに蔵王産牛乳を使用したミルククリームをサンドしました。

「宮城県復興に対するさまざまな方々の協力があるからこそ、私には学べる環境がある」という感謝の気持ちをイメージした、ハート型のパンです。売上の一部を「夢を応援基金（東日本大震災奨学金制度）」（P24 参照）に寄付しました。



▲宮農パン
ブルーベリー&ホイップの
ポスター

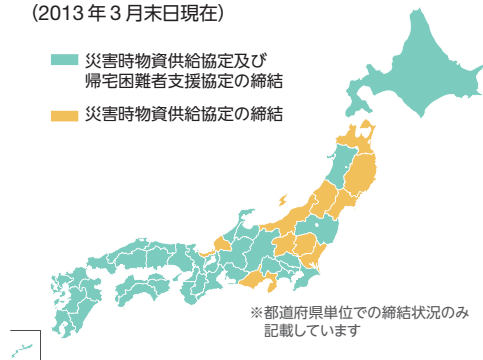


大きな災害からマチを守る ライフラインを目指します

大きな災害が起きた時、暮らしに必要なライフラインの一つとして、被災地にあるお店も、できる限り営業を続けるよう努力します。また、可能な範囲で生活に必要な物資を避難所などに供給する協定、交通機関が止まって帰宅することが困難になった皆さまを支援する協定を、全国の自治体や一部の公共機関と結んでいます。

◎主な災害時協定の締結状況※
(2013年3月末日現在)

- 災害時物資供給協定及び
帰宅困難者支援協定の締結
- 災害時物資供給協定の締結



災害発生時の備え

ローソングループの従業員に対し、災害発生時の行動基準を明確にするため、防災訓練を年3回実施しています。実際の災害や防災訓練での問題点を踏まえて災害対策マニュアルを定期的に見直しています。

また、首都直下や南海トラフ巨大地震、新型インフルエンザなどを想定し、対策をまとめた事業継続計画 (BCP) を策定しており、迅速な災害対策を実施する体制を整備しています。



▲災害対策マニュアル

▲BCPガイドライン

みんなのマチの 「セーフティステーション」へ

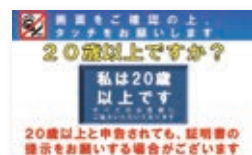
一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会の活動に参加し、防犯対策や、女性、子どもの駆け込み対応、高齢者の保護などを行っています。



▲セーフティステーション
店頭ポスター

未成年者への酒類・たばこの 販売防止に力を入れています

未成年者に対して酒類・たばこを販売しないよう、年齢確認の徹底に取り組むほか、ポスターや店内放送などでお客さまへのご理解・ご協力を求めています。



◀お客さま側の
レジ画面に
表示される内容

ローソングループ“マチの幸せ”募金

ローソングループは、「緑」と「子どもたち」への支援を社会貢献活動の中心として取り組んでいます。2013年6月から募金名称を「ローソングループ“マチの幸せ”募金」に統一し、「ローソン緑の募金」「夢を応援基金 (東日本大震災奨学金制度)」[TOMODACHI 募金 (東北学生 教育・日米交流支援)]を運営する3つの団体を支援しています。



▲店頭募金箱を
ローソングループ全店舗
(約11,000店)に設置

ローソン緑の募金



全国の小学校・中学校や特別支援学校を中心とした学校緑化活動、ボランティア団体を実施する各地の緑化事業などを支援しています。

寄付先：公益社団法人 国土緑化推進機構

◎緑化貢献事業への参加

「ローソン緑の募金」を活かした緑化貢献事業に、オーナーや店長、クルー、本部従業員も参加。1994年5月にスタートした緑化貢献事業への参加は2013年で20年目を迎え、回数は1,000回を超えました。



植樹活動の様子。間伐なども実施

夢を応援基金



東日本大震災の影響で就学が困難になった学生さんたち1,097名を対象に、最長7年間、月額3万円の奨学金 (返還不要) を支給するほか、交流会、体験型教育プログラムの活動を提供するなど、社会に飛び立つまでをサポートしています。

寄付先：公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)



首都圏在住の奨学生の皆さんを
対象に交流会を開催

TOMODACHI 募金



東日本大震災時の「トモダチ作戦」から始まった、米国政府と米日カウンシル・ジャパンによる復興支援、日米官民パートナーシップ TOMODACHI イニシアチブ。ローソンはその趣旨に賛同し、日米の教育・文化交流を通じて東北の学生さんを支援しています。

寄付先：公益財団法人 米日カウンシル・ジャパン



TOMODACHI リーダーシッププロ
グラム

災害発生時の募金対応

店頭募金は、大きな災害時には期間を定めて「災害救援募金」に切り替えています。2012年度は「九州北部豪雨災害義援金募金」を実施。合計369万5,928円を、自治体 (大分県、福岡県、熊本県) を通じて被災者にお届けしました。

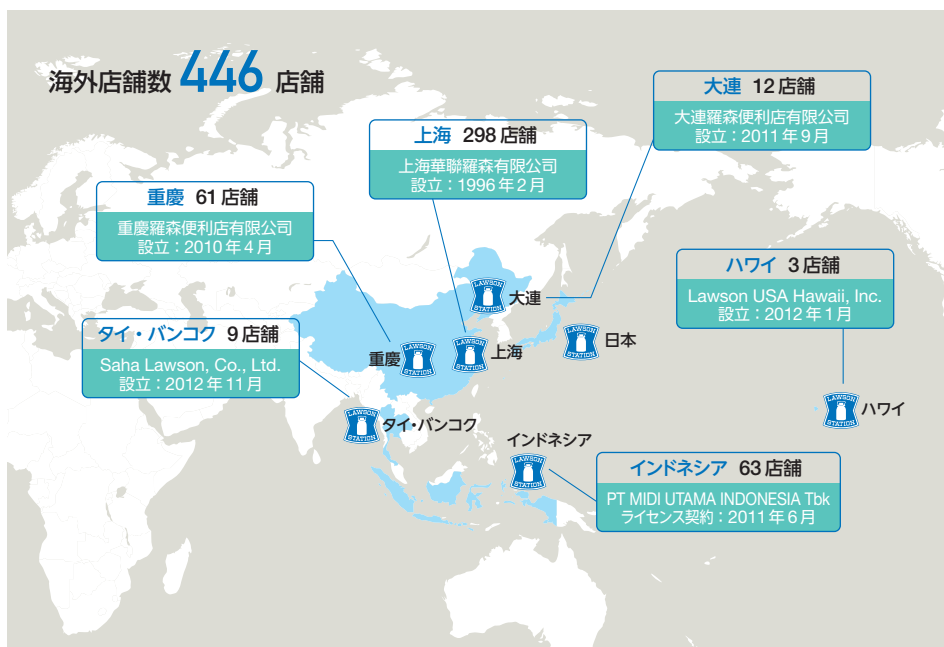


会社概要 (2013年2月28日現在/連結 <総店舗数のみ2013年7月31日現在>)

社名	株式会社ローソン
所在地	〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イースタワー
代表者	代表取締役 CEO 新浪 剛史
設立	1975年4月15日
資本金	585億664万4千円
社員数	6,404人
事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」のフランチャイズチェーン展開
全店舗売上高	1兆9,065億円
総店舗数	11,308店 (国内のみ)

注) 総店舗数は、株式会社ローソンの運営するローソン、ナチュラルローソンと、株式会社ローソン沖縄の運営するローソン、株式会社九九プラスの運営するローソンストア100の店舗数の合計です

海外展開 (2013年7月31日現在)



国内店舗情報 (2013年7月31日現在)

合計 **11,308** 店舗

※ (株) ローソン沖縄が運営する店舗数

中部地方 **1,351** 店舗

富山	184	静岡	204
石川	100	愛知	520
福井	104	岐阜	132
		三重	107

中国地方 **621** 店舗

鳥取	103	岡山	136
島根	105	広島	162
		山口	115

九州・沖縄地方 **1,183** 店舗

福岡	400
佐賀	62
長崎	97
熊本	105
大分	151
宮崎	92
鹿児島	119
沖縄	157*

四国地方 **458** 店舗

徳島	113
香川	108
愛媛	172
高知	65

近畿地方 **2,221** 店舗

滋賀	136
京都	268
大阪	1,003
兵庫	600
奈良	100
和歌山	114

北海道地方 **588** 店舗

東北地方 **886** 店舗

青森	191
岩手	158
宮城	206
秋田	172
山形	67
福島	92

関東・甲信越地方 **4,000** 店舗

茨城	129	新潟	117
栃木	129	山梨	97
群馬	82	長野	149
埼玉	471		
千葉	445		
東京	1,557		
神奈川	824		

グループ企業情報 (2013年2月28日現在)

主な連結子会社

- (株) 九九プラス
- (株) ローソンHMVエンタテイメント
- (株) ローソン・エイティエム・ネットワークス
- (株) ベストプラクティス
- (株) スマートキッチン

- 上海華聯羅森有限公司
- 重慶羅森便利店有限公司
- 大連羅森便利店有限公司
- (株) SCI

主な持分法適用 関連会社

- (株) ローソン沖縄

マチと共に生きる取り組み報告 2013

報告範囲	■対象組織	株式会社ローソン及びFC加盟店、一部関係会社の事業活動を中心に、物流や食品製造、廃棄物処理などのお取引先さまにご協力いただいている部分についても併せて報告しています。
	■対象期間	2012年度(2012年3月1日～2013年2月28日)を主な対象としていますが、2011年度以前、2013年度の活動についても一部掲載しています。
	■発行時期	2013年10月(前回：2012年9月 次回：2014年9月予定)

さらに詳しい内容はローソンホームページへ <http://www.lawson.co.jp/company/activity/>